

執行役員からのメッセージ

昭和電工では2022年1月からCEOを含む執行役員をグループで一本化した新体制がスタートしました。
パーパス実現に向けた自らのチャレンジを各執行役員からのメッセージとしてご紹介します。

日本発の世界トップクラスの機能性化学メーカーを目指し 新体制で企業価値向上に挑む

私はリーダーシップの方針として「自分にしかできないことに注力する」という考えを持っています。私にしかできないこと、それは人材育成であり、より多くの従業員と話すこと。それに注力するためにも、信頼できるメンバーとワンチームで経営を行う必要があります。

やること・やり方・やる人を変えないで、明日が今日より良くなることはありません。「化学の力で社会を変える」というパーパスの下、このチームで変革を進め、世界で戦える企業を目指します。これからの当社にご期待ください。

プロフィール

(株)三菱銀行(現・三菱UFJ銀行)や日本ゼネラルエレクトリック(株)などを経て、2015年に昭和電工に入社。最高戦略責任者(CSO)などとして、旧日立化成の買収や、買収後の統合新会社のあるべきポートフォリオ確立に向けた事業売却などに携わってきた。2022年1月より現職。最も大切にしていることは、徹底した心理的安全性の確保。批判的意見や、悪い知らせを安心して自分に報告できる環境整備に努めています。好きな言葉は「Change before you have to」。



高橋 秀仁
最高経営責任者(CEO)

スピードと共創にこだわり デジタル社会の進展と持続的な社会発展へ貢献する

当事業本部では、2021年にコンソーシアム「JOINT2」を設立し、参画企業とのオープンイノベーションにより今後必要となる次世代半導体実装技術の開発を行っています。また、近年不安定な状況にあるサプライチェーンの強化策としてサプライヤーからお客さまに至る情報などを一元管理・可視化できるシステムの構築も開始しました。今後もこのような共創による材料開発を通じてソリューションを提供することで、「人々の幸せと豊かさ」と「地球との共生」に貢献していきます。

プロフィール

1982年、旧日立化成に入社後、無機材料の営業・企画、海外営業(米国駐在)、摩擦材料事業部のマネジメントを経験。その後、同社役員として中国統括会社の董事長、自動車部品事業本部長、情報通信事業本部長を歴任。2021年より現職。座右の銘は「経営の要諦はバランスである」。物事の中庸を取ると言うことではなく、多くの利害関係者の考えに思いをはせ、意思決定することを心掛けています。自分の物差しを持つことは大事ですが、全て自分の価値観だけで決めつけてしまわぬよう、自らを戒めています。



山下 祐行
エレクトロニクス事業
本部設置準備室長
関連ページ ④ P.42-45



上口 啓一
最高リスク管理責任者(CRO)
関連ページ ④ P.69-71

さまざまな側面からリスク把握と先手を打つ対応で 変革をプロアクティブに支える

パーパス実現に向け、CROとして先頭に立ち、戦略リスクとオペレーションリスク、ハザードリスクを包括的に管理するリスクマネジメント体制を構築し、多様化・複雑化するリスクに対応していきます。また、統合新会社の行動規範とグローバル・コンプライアンス・スタンダードを確立し、法令遵守を超えたソフトローベースのコンプライアンスを実現します。さらに、グループ全体の監査・モニタリング機能の向上によりカバナンスを強化し、変革を支えていきます。

プロフィール

1983年、昭和電工に入社。コーポレートの企画、産業ガス・基礎化学品事業部などを担当。その後、法務、内部監査、総務、人事、購買SCMを役員(CRO)として管掌。2022年1月より現職。仕事において大事にしている言葉は「信頼」です。健全性、実効性と透明性を重視した事業運営により企業価値の向上を実現し、ステークホルダーの皆さまに信頼していただけるマネジメントを目指します。



酒井 浩志
最高技術責任者(CTO)
関連ページ ④ P.54-57

リスクを取り失敗を許容する、垣根のない開発環境で 研究開発のスピードを上げる

4つのバリューは、研究開発に携わってきた人には言葉に表さなくてもこれまで当たり前に行動してきた内容です。今後はこれまで以上に研究開発や知財対応で行動を起こしやすい環境を整備し、さらにスピードやオープンマインドを意識した行動で研究成果を確実に上げられるようにしていきたいと思います。
R&D活動／技術戦略／知財が一体となって事業部と連携し、世界トップクラスの機能性化学メーカーを目指します。

プロフィール

1986年、昭和電工に入社後、微粉研究センター(塩尻)で、バリウムフェライト磁性粉の研究に携わる。2年間の海外留学を経て、1993年よりハードディスクメディアの研究開発に従事。2019年SiCエピタキシャルウェハーの開発にも携わる。2020年よりCTO。2022年1月より現職。モットーは明るく楽しく前向きに(ATM)。



染宮 秀樹
最高財務責任者(CFO)
関連ページ ④ P.28-35

企業価値最大化に向け、たゆまぬ企業変革を推進し 財務面で統合新会社をベストナビゲートする

CFOの役割は、外部資本市場との関係では、当社の向かう方向性を投資家に適切に理解していただき、フェアな企業価値評価を獲得することであり、内部資本市場(当社内の資金・リソース配分)においては、企業価値最大化のためのリソース配分と財務運営を進めることです。そのために組織の枠を超えて価値を発揮できる組織づくりと人材育成を進めていきます。

プロフィール

野村総合研究所を経てメリルリンチ日本証券、JPモルガン証券でテクノロジー・メディア・テレコム業界担当投資銀行業務の統括責任者を歴任後、ソニーに入社。同社では、グループ全体のM&A責任者、半導体事業のCFO、AIセンシングソリューション事業の立ち上げに携わった。2021年10月、昭和電工に入社し、2022年1月より現職。好きな言葉は「Stay Hungry, Stay Foolish!」。



眞岡 朋光
最高戦略責任者(CSO)
関連ページ ④ P.26-27、32-39

戦う視座を世界トップレベルに高めるために 社内外の壁を越える機動力・発信力を高める

2022年からの新体制におけるCSOの役割は、「世界で戦う」姿を定義し導くことによって「化学の力で社会を変える」という統合新会社の存在意義を広く、そして強く証明することです。そのために社内のみならず社外のパートナーの皆さまと枠を超えた多種多様な共創の形を柔軟に具現化し、先見性を持って当社のあるべき姿を新しく形作る活動を進めます。

プロフィール

A.T. カーニーを経て、インフィニオンテクノロジーズジャパン、レノボ・ジャパンで事業戦略、ビジネスモデル変革などに従事した後、ルネサスエレクトロニクスに入社。同社執行役員として、経営企画、中国事業統括などに携わる。2021年10月、昭和電工に入社し、2022年1月より現職。座右の銘は「乗り越えられる試練しか与えられない」です。

執行役員からのメッセージ

さまざまな技術と事業を磨き上げ ワクワク感を持って共創に取り組む

研究開発で培った素材に関する知見と、我々が対面する市場のニーズ、人を理解している強みを活かし、統合新会社が保有する素材の強みを磨き上げ、付加価値の最大化にこだわります。また、ワクワク感を持ち楽しくニッチ製品を増やして行くことを通して、いち早く社会課題を捉え課題解決に貢献する素材の提案ができる、健全で闊達な機能素材集団に進化させていきます。

プロフィール

1987年、旧 日立化成に入社。素材からエレクトロニクス、ディスプレイ関連のさまざまな研究開発に携わった後、機能材料全般の事業企画、自動車部品の事業企画および事業、マーケティング、CTO兼ライフサイエンス事業管掌を経て2022年1月より現職。好きな言葉は、「成功者ではなく、価値ある人間を目指すべき。人の価値とは、その人が得たものではなく、その人が与えたもので測られる」です。



片寄 光雄
機能材料事業
本部設置準備室長
関連ページ [🔗](#) P.48-49



藤田 茂
最高マーケティング責任者
(CMO)
関連ページ [🔗](#) P.58-59

高収益ビジネスを創出し続けるために 社内外の枠を超えたネットワークを作り上げる

マーケティング、営業の横串部門として、社会や市場ニーズの変化をスピーディーに把握し、当社の技術・製品の価値をタイムリーに提案し事業に結びつける組織でありたい。そのために、部門の枠を越え、情報を共有し、当社の価値をグローバルなお客さまに提案できる営業、マーケティング体制構築を進めていきます。

プロフィール

1987年、旧 日立化成に入社。半導体材料の営業に従事。その後、台湾、シンガポールの海外販売会社の社長を経て、2017年4月に旧 日立化成の営業本部長、2019年4月に営業本部長兼情報通信事業本部副本部長。2022年1月から現職。好きな言葉は「三方よし」。自身の営業の基本スタンスです。



石井 義人
モビリティ事業
本部設置準備室長
関連ページ [🔗](#) P.46-47

人々の夢を現実に変えるために 世の中の変化を上回る速さで、挑戦し続ける

100年に一度の変革期と言われる自動車業界は、地球環境問題への対応と快適な移動環境を提供するために、軽量化、電動化、自動運転など大きく変化していきます。この次世代自動車を支える技術と製品でソリューションを提供することで社会に貢献していきます。その実現のために、グローバルで活躍している多くの仲間、お客さまなどとのオープンな対話を通して、新たな価値創出に向けて共にチャレンジしていきます。

プロフィール

1992年、旧 日立化成に入社。リチウムイオン電池用黒鉛負極材の研究開発から量産化、事業化まで携わり、開発部長、事業部長を歴任後、日立パワーソリューションズに入社。同社代表取締役社長として電力・エネルギー事業の経営に携わる。2019年4月、旧 日立化成に再入社しエネルギー事業を担当、2021年11月より現職。好きな言葉は、ピーター・ドラッカーの「未来を予測する最良の方法は、未来を創ることだ。」です。

従業員の自律的な挑戦とつながりを促し、成長を実感、 パーパス・バリューを体現する人と組織をつくる

社会課題を解決する機能性材料メーカーになるための究極の戦略が人材育成だと考えています。VUCA*の時代、どのような状況下でも自律的に動き、枠を超えて仲間を作り共創し、新たな価値を創造する人材になってほしいと思います。人材育成はリーダーの最も重要な役割です。CHROチームは、各部門のリーダーのパートナーとして、従業員一人ひとりが自分の持つ可能性のすばらしさに気づく仕掛けづくり、そしてその可能性を最大限引き出すための場を提供していきます。

* VUCA: Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性)

プロフィール

1995年、旧 日立化成に入社後、経営企画、海外営業(米国駐在)、複数事業の企画などを経験。2022年1月より現職。好きな言葉は「為せば成る」「もし今日が人生最後の日だとしたら、今やろうとしていることは本当に自分のやりたいことだろうか」。ありがたい姿に向けて、制約を設けず一人ひとりが自由に発想・行動し、結果的に全社一丸となって変革し続けることができる企業文化を創ることがモチベーションの源泉です。



今井 のり
最高人事責任者(CHRO)
関連ページ [🔗](#) P.72-77



飛戸 正己
最高製造関係業務・技術責任者
(CMTO)
最高品質保証責任者(CQO)
関連ページ [🔗](#) P.62-68

機能の壁を超えた誇りある活動の推進で 信頼される企業であり続ける

企業が大きくなればなるほど組織間のコミュニケーションが滞り、壁ができて、「それは自分の仕事ではない」「自分の仕事に他の機能は口出しをするな」など結果を出すために何がベストかを考えられない人や組織文化になりがちです。私たちのバリューを体現し、良いことも悪いことも機能を超えて指摘し合い、議論し、協力すること。結果を出そうと頑張っている人や組織を機能を超えて支えられるよう、皆さんと一緒に進めていきます。あと「Bad News Fast(悪いこと程早く伝える)」も重要です。伝えた人に感謝します。

プロフィール

トヨタ自動車、アマゾン、GKNドライブラインなどで生産技術、製造、調達SCMなどを経験。2017年、昭和電工に入社。カーボン事業部でSGLとのオペレーションの統合、製造、調達SCMなど製造オペレーションの改善、マネジメントを実施。2021年7月より役員。2022年1月より現職。仕事を上での好きな言葉は大野 耐一の「問題がないのが一番の問題」。言われたことや発生型の問題を解決することはもちろんですが、あるべき姿、将来に向けて課題、問題と一緒に取り組みましょう。

IT／デジタルで人と情報を結びつけ 事業と経営に変革をもたらす

全社一丸となったデジタル変革を推進することで、業務プロセスの標準化やデータの構造化、風土改革を行うと共に、ビジネスモデルを抜本的に変革し、自律した成長・高い競争力につなげていきます。要となるデジタル人材の育成を通じて、業務プロセス・データを継続的に改善・進化させ、徹底したデータ利活用により、社内外のビジネス・チェーンで人と情報をつなぎ、ステークホルダーとの共創、社会的価値創造に貢献していきます。

プロフィール

富士フィルムホールディングスでIT企画部長、Robotic Innovation室長、富士フィルムでICT戦略室長を歴任後、2019年5月に昭和電工へ入社。情報システム部長として、デジタル変革を推進。2020年1月に理事役 情報システム部長。2022年1月より現職。好きな言葉は、「一期一会、過去にこだわるものは未来を失う」です。



柴田 英樹
最高デジタル責任者(CDO)
関連ページ [🔗](#) P.60-61